学部 / 看護専門領域 / 看護の実践
科目コード：140008

成人・老年看護学実習（急性期） Practicum：Adult and Gerontological Nursing （Acute）

担当教員	紺家 千津子、川島 和代、松本 勝、大西 陽子、大橋 史弥				
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院等の勤務経験がある。				
開講年次	3年次後期	単位数	3	授業形態	実習
必修・選択	必修	時間数	135		
Keywords	成人期、老年期、積極的治療、手術療法、薬物療法、意思決定支援、侵襲からの回復支援、継続看護				
学習目的・目標	目的 積極的な治療（手術療法・薬物療法など）を受ける成人期・老年期の対象者・家族を包括的に捉え、危機的状況から回復へ至る適切な看護実践能力並びに、入院時から退院後の生活を視野に入れた継続看護を実践する能力を養う。 目標 1．生活者として対象者の身体的・心理的・社会的な特徴が理解できる。 2．積極的治療を受ける対象者を理解できる。 3．積極的治療を受ける対象者及び家族の意思決定の援助が理解できる。 4．積極的治療中の対象者に援助ができる。 5．継続すべき看護援助の必要性を明らかにし、考えられる具体案を提示できる。 6．医療従事者の協働の重要性について考え、各々の役割が理解できる。				

授業計画・内容

回	内容
	1. 積極的な治療（手術療法・薬物療法など）を受ける成人期・老年期の対象者を受け持ち、入院時から退院後の生活を視野に入れた看護過程を展開し、記録をする。 2. 実習中は、適宜教員とカンファレンスを行い、対象者の看護について理解を深める。 3. 病院施設の指導者と実習メンバーは、定期的に実習カンファレンスを行う。 4. 学習内容 ①生活習慣および生きた過程（ライフヒストリー）もふまえ、積極的な治療が必要な対象者の病態を身体的・心理的・社会的な側面から理解する。 ②治療や障害（機能低下）に対する対象者及び家族、近親者の理解や受け止め方（受容過程）を把握し、相互の受け止め方をアセスメントする。 ③危機的状況から回復へと変化する対象者を身体的・精神的・社会的側面からアセスメントし、苦痛の軽減や回復を促す援助方法を理解する。 ④積極的治療を受ける対象者の療養環境の特徴を理解する。 ⑤残された課題や継続すべき看護援助について、社会資源の必要性も含め考えられる。 ⑥医療専門職者間における連携・協働（移行支援を含む）の重要性を理解する。

教科書	疾病・障害論で使用した教科書及び資料 成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護学概論、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ、成人・老年看護方法論演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで使用した教科書及び資料
参考図書等	病気が見えるシリーズ Vol.1 Vol.2 Vol.4 Vol.7 Vol.9 Vol.11 看護学テキストNiCE 老年看護学概論、老年看護学技術、南江堂 看護学大辞典 第6版 メジカルフレンド社（図書館 e-book利用可）
評価指標	看護ケアの提供状況と取り組み姿勢50％ 対象理解と看護過程における思考の整理25％ カンファレンスでの発表と自己の振り返り等25％
関連科目	成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護学概論、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ、成人・老年看護方法論演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、成人・老年看護学実習（慢性期）
教員から学生へのメッセージ	積極的治療が必要な対象者と真摯に向き合い、どのような援助がよいか、移行支援について一緒に考え実践していきましょう。また、自分の観察力、洞察力、判断力を発揮し、自分の課題とも向き合い自己成長につなげましょう。